

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成28年1月28日 (2016.1.28)

【公開番号】特開2015-163200(P2015-163200A)

【公開日】平成27年9月10日 (2015.9.10)

【年通号数】公開・登録公報2015-057

【出願番号】特願2015-76345(P2015-76345)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 0 4 D

【手続補正書】

【提出日】平成27年12月3日 (2015.12.3)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技者の操作によって遊技媒体が打ち込まれる遊技領域と、
遊技状態に応じた演出画面を表示する表示装置と、
前記遊技領域内の所定位置に配置された第一可動体と、
該第一可動体を遊技者によって視認され難い通常位置と前記演出画面の前面に出現して
遊技者によって視認される出現位置との間で移動させる第一駆動機構と、
前記第一可動体とは異なる位置に配置された第二可動体と、
前記出現位置に接近した所定位置であって遊技者によって前記第二可動体が視認される
第一位置と、前記出現位置に対して該第一位置よりも離れた所定位置であって遊技者によ
って視認され難い第二位置との間で前記第二可動体を移動させる第二駆動機構と、
を備え、
前記第一可動体が前記通常位置から前記出現位置に移動したことが遊技者によって視認
されながら前記第二可動体が前記第二位置から前記第一位置に移動した際、
該第一可動体と該第二可動体とが一体となった演出態様として認識可能にされ、
前記第一可動体と前記第二可動体とが前記演出画面の前面にあるものの、当該演出画面
の一部は該第一可動体及び該第二可動体によって遮られることなく遊技者によって視認可
能であり、
さらに、前記第一可動体が前記出現位置に移動された際には、前記演出態様を変化させ
得る態様変化手段と、を備える
 ことを特徴とする遊技機。

【請求項 2】

前記第一可動体が所定軸周りに回転可能とされ、
前記第一駆動機構は、前記第一可動体が前記出現位置にあるときに、該第一可動体を回
転駆動させる
ことを特徴とする請求項 1 に記載の遊技機。

【請求項 3】

前記遊技媒体が遊技球である
ことを特徴とする請求項 1 又は 2 に記載の遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

前記目的を達成するために、本発明は、遊技者の操作によって遊技媒体が打ち込まれる遊技領域と、遊技状態に応じた演出画面を表示する表示装置と、前記遊技領域内の所定位置に配置された第一可動体と、該第一可動体を遊技者によって視認され難い通常位置と前記演出画面の前面に出現して遊技者によって視認される出現位置との間で移動させる第一駆動機構と、前記第一可動体とは異なる位置に配置された第二可動体と、前記出現位置に接近した所定位置であって遊技者によって前記第二可動体が視認される第一位置と、前記出現位置に対して該第一位置よりも離れた所定位置であって遊技者によって視認され難い第二位置との間で前記第二可動体を移動させる第二駆動機構と、を備え、前記第一可動体が前記通常位置から前記出現位置に移動したことが遊技者によって視認されながら前記第二可動体が前記第二位置から前記第一位置に移動した際、該第一可動体と該第二可動体とが一体となった演出態様として認識可能にされ、前記第一可動体と前記第二可動体とが前記演出画面の前面にあるものの、当該演出画面の一部は該第一可動体及び該第二可動体によって遮られることなく遊技者によって視認可能であり、さらに、前記第一可動体が前記出現位置に移動された際には、前記演出態様を変化させ得る態様変化手段と、を備えることを特徴とする遊技機である。

さらに、本発明の態様を例示すると次のとおりである。

手段1：遊技機において、

「遊技者の操作によって遊技媒体が打ち込まれる遊技領域と、

該遊技領域における遊技者と対面する方向に対して直角方向の外周を区画する枠板状の前構成部材と、

該前構成部材の後側に配置されると共に前記遊技領域の後端を区画し、正面視で該遊技領域内の略中央に前後方向へ貫通した開口部を有する板状の遊技パネルと、

該遊技パネルの前記開口部へ前側から取付けられ、前後方向に貫通し下内縁から上内縁までの高さが前記遊技パネルの下端から前記下内縁までの高さの0.7倍～1.2倍の高さとされた窓部を有する枠状のセンター役物と、

該センター役物の前記窓部を通して遊技者側から視認可能とされると共に前記遊技パネルの後側に配置され、所定の演出画像を表示可能な演出表示手段と、

該演出表示手段と前記遊技パネルとの間に配置され、左右方向の幅が前記センター役物の前記窓部の幅よりも大きく且つ上下方向の高さが前記遊技パネルの下端から前記窓部の前記下内縁までの高さの0.7倍～1倍の高さとされた板状の可動体と、

該可動体の上端が前記窓部の前記下内縁と略同じ高さとなる退避位置から、前記可動体の上端が前記窓部の前記上内縁と可及的に同じ高さとなる出現位置までの間で、前記可動体を上下方向へスライド可能に支持すると共に、前記遊技領域内へ遊技媒体が打ち込まれることで変化する遊技状態に応じて前記可動体を上下方向へスライド駆動させる駆動機構と

を具備する」ものであることを特徴とする。